

## 流山市児童発達支援センター 児童発達支援評価表 従業者向け

									改善対応事項	
			はい	どちらとも	いいえ	わからない	無回答	小計	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など (職員回答)	課題や改善すべき点
環境・体制整備	問1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	16	5	6	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間的に空いている部屋を外来で使用するなどの工夫をしていると思われる</li> <li>・未満児や注意がうつりやすい子にとって、プレイルームが広いと感じる。仕切りや時間によってはコーナーをつくることで少し軽減されたと考える。</li> <li>・現時点では適切だと思いますが、医ケア児が増加すれば狭隘になると思いますので、将来的には、条例改正が必要になるかと思えます。個々の状態に合わせたクラス編成となり物品が多い場合はスペースを確保した体制にしている。</li> </ul>	受け入れる児童の年齢や特性によって、適切なスペースは変わってくるため、児童の受入計画に基づき、施設改修や定員の変更(条例改正)を検討してまいります。
								<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスの部屋が狭い。</li> <li>・工夫して荷物を置いているが、色々な場所に取りにこななくては行けない点は改善が必要である。</li> <li>・ドアの鍵、ドア窓のマジックミラー。</li> </ul>		
	問2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23	19	2	4	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス単位でなく、グループ単位で人数調整する必要がある。</li> <li>・職員人数が変わりやすい。多すぎるときがある。</li> <li>・フリー職員がいると良い。</li> <li>・自由時間などの時に、みんなで全員を見ている。</li> <li>・クラス担任以外の専門職が日頃からフォローに入ってチームで支援している。</li> </ul>	受け入れる児童の年齢や特性によって、適切な職員の配置数は変わってくるため、児童の受入計画に基づき、看護師等を含め、配置要望(正規職員及び会計年度任用職員)を行っていきたくと考えております。
								<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的には医ケア児の増員あった際には、看護職の増員が必要だと思います。</li> <li>・職員が少なく、休みも取りにくい。</li> </ul>		
問3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	18	12	3	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物の配置を工夫したり絵カードなどを使って生活しやすくしている。構造化について、職員研修を受けて少しづつクラスでも取り組んでいる。</li> <li>・注意喚起は都度行っている。</li> </ul>	バリアフリー対応等について、施設改修等を検討してまいります。	
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵などの開け閉めのひと手間が大変。</li> <li>・段差が多くあり、子どもが転倒した。</li> <li>・給食の配膳時に、子どもたちが遊んでいるプレイルームを何度も往復して運ばなければいけない構造は大変危険だと思う。</li> <li>・「段差があつたり、廊下等がなくクラスでたら突然プレイルームは子供にとって切り替えができないと思う。</li> <li>・収納場所が少なく、物が散乱しやすい。靴箱までの動線や降園時のバスまでの動線が気になる。</li> <li>・昭和の時代に建てられた建物をそのままずっと使用しているので、今の令和の時代にそぐわない点も出てきたと思います。 (例・①自動扉の設置 ②夜間のビデオカメラによる見守り等)</li> <li>・バリアフリー。</li> <li>・電話の内線が繋がると非常時に助かる。</li> <li>・玄関、部屋のバリアフリー。</li> <li>・トイレの環境。</li> </ul>			
			20	15	10	3	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の清掃を行っているところが丁寧で工夫されていると思います。</li> <li>・日々の清掃を徹底している。</li> <li>・毎日清掃と消毒を行なっている。</li> <li>・職員と看護師の創意工夫の結果だと思えます。</li> </ul>	

	問4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。								<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや手洗い場が古く、下水の匂いがすることも多いため、子どもたちが生活する場には不衛生のように感じる。</li> <li>・下水の匂いが強く、改善が必要かと思われる。</li> <li>・外の臭いが気になるときがある</li> <li>・とにかく臭い、汚い。</li> <li>・どこも下水の臭いが漂っている。</li> <li>・遮光カーテンを取り入れたのは良い、座位保持椅子を数台入れると窮屈に感じる点。</li> <li>・利用者さんが見える場所に、埃が溜まっているが誰も掃除をしていない。</li> </ul>	今後も日々の清掃と消毒を行ってまいります。劣化や異臭等については、施設改修等を検討してまいります。
	問5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	12	13	4	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一応、あります。</li> <li>・調乳室内に、授乳室兼子どもが落ち着きたい時に使えるスペースがある。また、パーテーションを作成し、必要に応じて使用している。</li> <li>・部屋が空いていない時がある。</li> <li>・ヒートアップしてしまった時のクールダウン部屋があるとより良いと思う。</li> <li>・クールダウンする部屋がない。</li> <li>・静かにできる空間がない。</li> <li>・リフレッシュ部屋があると良いと思う。</li> <li>・個別の部屋は特になさそう。</li> <li>・余分な部屋がない。</li> </ul>	受け入れる児童の年齢や特性によって、個別空間の必要性は変わってくるため、児童の受入計画に基づき、施設改修や定員の変更(条例改正)を検討してまいります。	
業務改善	問6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	15	2	10	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か行事をした後など反省会をしているため。</li> <li>・クラス単位ではしっかりと行っている。</li> <li>・クラス会議の時間を設けている。</li> <li>・様々な立場の意見を聞きながら日々改善を図っている。</li> <li>・毎月、ケース会議や指導会議等、支援について共有する時間を作っている。</li> <li>・振り返りがなく、反省はいかされない。</li> <li>・時間が足りない。</li> <li>・見たことがない</li> </ul>	クラス単位でのPDCAサイクルを事業全体のPDCAサイクルにつなげることができるよう、職員間の情報の共有に努めてまいります。	
	問7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	26	11	1	10	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事後の保護者アンケートを踏まえて支援プログラムの見直しを図っている。</li> <li>・内容および改善すべきところが追記されたものが回覧されている。</li> <li>・言われたことに対して、すべて受け入れるのではなく、こちらの理由なども話しあったほうが良い。</li> <li>・改善の為に意見を聞かれたことはない。</li> </ul>	連絡帳アプリなどを積極的に活用して、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげていきたいと考えております。	
	問8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	29	11	2	6	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらから話しやすい雰囲気があり有り難い。</li> <li>・ケース、指導、クラス、領域会議などをきちんと曜日等決めて行っていること。</li> <li>・クラス会議にて行っている。</li> <li>・意見が言いやすいよう、関係する職員が少人数で集まる会議が多い。</li> <li>・会議がある。</li> <li>・職員から意見はでるが、あまり改善されていると思えない。</li> <li>・話し合いの場がない。</li> </ul>	会議の場を設けるほかグループウェアの機能を活用するなどして、職員の意見等を把握し、業務改善につなげていきたいと考えております。	
	問9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	31	7	1	9	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援につながるよう職員全員に周知されている。</li> <li>・業務改善のための話し合いがない。</li> </ul>	第三者による外部評価結果を業務改善につなげていけるよう、職員間の情報の共有に努めてまいります。	

										・業務改善まで行えていないように感じる。	
	問10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	39	8	0	1	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・」研修が充実している点は良い、全部出席も良いが各自でやりたいものを選べると良い。</li> <li>・毎月のように研修があり、意識が変わったように感じる。</li> <li>・例年よりも内部研修が多く、学びになっているため。</li> <li>・毎月テーマを決めて研修を開催している。バス添乗や時短勤務などにより全員が参加できる時間を調整する大変さはある。</li> <li>・会計の職員にも、もっと、機会があつたら良い。</li> <li>・研修の機会はあっても、職員の休憩時間の確保などからなかなか参加者が集まるのが難しい。</li> <li>・研修を受ける時間を確保されていない。</li> </ul>	引き続き、内部研修や外部研修の機会を多く設け、会計年度任用職員に対しても広く機会を確保していきたいと考えております。	
適切な支援の提供	問11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	34	3	1	10	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画書を毎年作成し、保護者に説明の上配布している。</li> <li>・領域グループなどの活動は、良いと思って行っているが、継続してやってみないと分からない点が多い。</li> <li>・個々の発達段階を把握し、グループ分けをしてこどもの興味関心に合わせた支援内容を組み立てている。</li> </ul>	引き続き、適切な支援プログラムの作成に努めるとともに、更に適切な公表方法について検討してまいります。	
	問12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	37	3	1	7	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの丁寧な聞き取りや、担任による太田ステージなどを活用した発達段階の把握に努めている。</li> <li>・太田ステージの研修をしっかりとやらせ、職員間で分析しやすくなると思う。</li> </ul>	太田ステージの研修を実施するなどして、適切なアセスメントが可能となるよう努めてまいります。	
	問13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	32	2	1	12	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスでしっかりと話し合った内容を、児発官が精査してくれている。</li> <li>・クラスの担任や関係職員と会議を重ねた上で作成している。</li> <li>・担任の意見をもとに作成してもらっているため。</li> <li>・会議が定期的にある。</li> <li>・自発管が作っているわけではない。他職種や同業者とのカンファレンスがない。</li> </ul>	児童発達支援計画の作成の際には、他職種との意見交換を含め検討してまいります。	
	問14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	30	8	0	10	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス会議で確認し、共通理解を図っている。</li> <li>・毎月、計画の目標につながる個別の目標の達成具合をクラス会議で共有し、支援している。</li> </ul>	引き続き、クラス会議を実施するなどして、児童発達支援計画の職員間共有を行ってまいります。	
	問15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	8	1	14	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より配慮が必要なこどもの支援を検討するため、行動分析などができる統一されたツールの必要性がある。</li> </ul>	フォーマルなアセスメントを行うための標準化されたツールの作成を検討してまいります。	
	問16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	35	2	1	10	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加算対象のものには、しっかりと記入も行っている。</li> <li>・児童発達支援ガイドラインを職員に周知し、支援内容に活かしている。</li> </ul>	引き続き、児童発達支援ガイドラインについて、職員間で周知のうえ、具体的な支援内容の設定を図ってまいります。	
	問17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	29	7	4	8	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種領域会議を行っている。</li> <li>・話し合いの回数が足りない、話し合う時間が取れない。</li> </ul>	チームでの活動プログラムの立案が可能となるよう、会議の質の向上に取り組んでまいります。	
	問18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	29	9	1	9	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの活動参加状況に合わせて次の活動計画を組み立てている。</li> </ul>	引き続き、活動プログラムが固定化しないように工夫してまいります。	
	問19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	28	6	3	11	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任とりハ職が共通認識を図り、個別で得た動きを集団活動に取り入れている。</li> <li>・今年度は、新しい試みがたくさんあり、定着するまで時間がかかると思う。</li> </ul>	今年度より開始した新たな取り組みを定着させることで、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画の作成、支援につなげてまいります。	
	問20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	30	7	3	8	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーが揃わない場合もあるので共有ツールの活用も今度必要。</li> </ul>	支援開始前に職員が揃わない場合も想定し、グループウェアなどのITツールの活用により、チームでの連携を強化してまいります。	

	問21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	29	6	6	7	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日行えていない。</li> <li>・特別なことがあれば、共有している</li> </ul>	支援終了後に職員が揃わない場合も想定し、グループウェアなどのITツールの活用により、チームでの連携を強化してまいります。
	問22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	35	7	1	5	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し会議を行う時間を設けられるとなお良い。</li> <li>・話し合う時間が取れない事が多い。</li> </ul>	引き続き、日々の支援について記録をとることを徹底してまいります。
	問23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	30	10	0	8	0	48		引き続き、児童発達支援計画について適切な見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	問24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	35	1	0	11	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な時に関係者会議を行っていた。</li> <li>・児発管だけでなく担当する職員も参加している。</li> </ul>	引き続き、児童発達支援管理責任者のみならず、状況をよく把握した職員が参画できるよう努めてまいります。
	問25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	34	5	2	6	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な関係機関と連携しやすいようと各種会議で交流を図っている。</li> <li>・医療ケアが必要、外国籍で支援が必要等、必要に応じて連携している</li> </ul>	引き続き、地域の関係機関との連携を強化してまいります。
	問26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	27	10	1	9	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園側からの見学や相談に適宜応じている</li> </ul>	引き続き、インクルージョン推進の観点から支援を行うとともに、関係機関との情報共有と相互理解を図ってまいります。
	問27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	36	3	1	8	0	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き継ぎ会に参加してスムーズな就学支援に努めている。</li> </ul>	引き続き、就学時の移行の際には、小学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図ってまいります。
	問28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	29	3	1	13	2	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所連絡会に参加している。</li> </ul>	—
	問29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	41	2	0	3	2	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規の職員以外でも、研修を受けることが多かった。</li> <li>・研修は参加した職員が他の職員に共有していけるよう報告会などもあるとよい。</li> </ul>	引き続き、事業所連絡会への参加を通じ、地域全体の質の向上に取り組んでまいります。
	問30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	30	0	2	14	2	48		広く会計年度任用職員に対しても外部研修参加の機会を確保していくとともに、復命書の回覧等を通じて、参加職員以外にも研修内容の共有を推進していきたいと考えております。
	問31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	3	1	32	5	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターが児童発達支援センターのため。</li> </ul>	引き続き、各種会議等へ積極的に参加してまいります。
	問32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	29	5	3	10	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つばさ学園はある。</li> <li>・交流会やイベント招待などにより交流を図っている。</li> <li>・保育園や幼稚園と併用しながら事業所に通っている。</li> </ul>	
	問33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	37	5	0	5	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめに連絡をとりあっている</li> </ul>	
問34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	26	10	2	9	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観時に支援方法を伝えている。</li> <li>・保護者学習会を開催している</li> </ul>	引き続き、交流会や各種のイベントを通じて交流を深めてまいります。	
	問35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	28	7	1	11	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりにくい場所に掲示されてる。</li> </ul>	連絡帳アプリの機能を最大限活用するとともに、電話や対面での相談にも柔軟に対応するなどして、保護者との共通理解を深めてまいります。
	問36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	36	1	0	10	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見も確認しているため。</li> <li>・保護者との折り合いがうまくいかないことがある。</li> </ul>	引き続き、保護者参観の機会をとらえるなどして、保護者学習会の実施を行ってまいります。
	問37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	40	0	0	7	1	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発官がしてくれている。</li> </ul>	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について周知方法を検討してまいります。

保護者への説明等	問38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	41	1	0	5	1	48	必要があれば行っている。 相談内容によっては通常の面談期間外に面談を設定している。	引き続き、こどもや家族の意向を尊重し、児童発達支援計画を作成してまいります。
	問39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	13	7	13	2	48	・フリー参加で保護者の交流を図る機会を設けているが、参加者が少ない。 ・保護者同士の交流は、フリー参加や懇談会でされている、兄弟は行っていない。 ・保護者同士が話す機会はさらに必要。	引き続き、児童発達支援管理責任者を中心に、児童発達支援計画の説明を行い、同意を得てまいります。
	問40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	35	3	0	9	1	48		引き続き、家族等からの相談に適切に対応してまいります。
	問41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	38	1	4	4	1	48	・児発官と連携をとり行っている。	引き続き、保護者同士の交流機会を設けるとともに、多くの保護者が参加できるよう促してまいります。また、きょうだい同士の交流機会も検討してまいります。
	問42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	43	3	0	1	1	48		引き続き、相談や申入れについて、体制整備に努めるとともに、更に迅速かつ適切な対応を行ってまいります。
	問43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	39	1	0	7	1	48	・表情を読み取って代弁し意思疎通を図っている。	HPやInstagram等を活用し、積極的に情報発信を行ってまいります。
	問44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	24	6	1	15	2	48	・イベントに招待しているが、参加は少ない。周知方法の工夫が必要。	引き続き、法令等に基づき、個人情報の取扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	問45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	33	10	1	3	1	48	・マニュアルがどこにあるか分からない。いつでも保護者や支援者が見える場所に置いてほしい。 ・マニュアル改定が必要なものもある。 ・職員のヘルメットが整備されてない。	引き続き、意思の疎通や情報伝達について配慮してまいります。
	問46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31	13	0	3	1	48	・毎月実施している。	イベント等に地域住民を招待しておりますが、参加が少数であるため、周知方法に工夫してまいります。
	問47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	42	1	1	3	1	48	・個別マニュアル作成している。	各種マニュアル等は策定されておりますが、随時の見直しを適切に行うとともに、職員・家族等への周知や定期的な訓練を行ってまいります。
	問48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	38	0	2	7	1	48		避難訓練は毎月行っておりますが、業務継続計画、防災マニュアル等との位置づけを整理してまいります。
	問49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	28	3	0	14	3	48		個別マニュアルの作成等を通じて、適切な状況確認を行ってまいります。
	問50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	26	6	0	15	1	48		食物アレルギーマニュアルの随時の見直し等を通じて、適切な対応を図ってまいります。
	問51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	42	1	1	3	1	48	・ヒヤリハットの再発防止のための共有がない。 ・ヒヤリハット記載が少ない、共有される必要がある。	こどもの安全確保に関して、安全計画を策定していますが、随時の見直しを行ってまいります。
	問52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	40	6	1	0	1	48		こどもの安全確保に関して、安全計画を策定していますが、家族等への周知を十分に行ってまいります。
	問53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	40	4	0	2	2	48	・見守りカメラを使用しているが、抑止力にはなるのでは？	ヒヤリハットについて、朝礼や終礼、報告書の回覧等で共有し、再発防止策を講じてまいります。
		<b>合計</b>	64%	13%	4%	17%	2%	100%		引き続き虐待防止及び身体拘束等の適正化委員会において協議のうえ、職員の研修機会の確保等を行ってまいります。
	問54	その他 支援センターの運営に関してご意見があれば、ご記入下さい							・施設の匂いが気になります。とにかく朝から臭いです。 ・児のオムツ交換ベッドがなく、トイレの床にバスマットを敷いて行っている、トイレ整備してほしい。	